

～上野の杜にシタールの調べ～

東京国立博物館では特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏 仏教美術の源流」の開催を記念しシタールのコンサートを開催いたします。

独特の音色を奏でるシタールはインド発祥と言われています。仏教の聖地インドで生まれた音楽を、この時期だけ公開中の庭園内の桜とともに楽しみ下さい。

なお当日は庭園ライトアップを予定しております。日本の春をシタールの調べとともに楽しみください。

開催概要

日時 2015年4月3日(金)
場所 東京国立博物館(上野公園内)
13:00 表慶館前
18:00 庭園
(雨天時 東洋館ロビー)

出演者 サワン・ジョシ (シタール奏者)
野崎 洋一 (キーボード)
関根 真理 (パーカッション)

入場料 無料(ただし、当日の入館料が必要です)

共催 東京国立博物館/NPO法人世界遺産コンサート
後援 日本経済新聞社
協力 k-sound/オフィスジブ/トレジャーアイランドCo./S・W/コナン



東京国立博物館 特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏 仏教美術の源流」
表慶館 2015年3月17日(火)～5月17日(日) 詳しくはこちら <http://www.tnm.jp/>

サワン・ジョシ Sawan Joshi (シタール奏者、民族音楽研究者)



1977年ネパール、カトマンドゥに生まれる。14歳の時インド・ネパール古典音楽の音楽家であった祖父の影響で古典音楽を学び始める。インド古典音楽の資格認定試験(Prayag Sangeet Samiti, Alahabad, India)に合格し、98年ネパール全国古典楽器コンクールにて第1位。ネパールにてライブ演奏、ラジオ出演などの活動を開始。

2000年に来日、シタール奏者として様々なアーティストと共演しながら、2002年Ho-Hi-Yan国際音楽祭(台湾)、その後、アジア・アコースティック・フェスティバル(台湾)、国際民謡歌謡祭(台湾)、The Rising Sun Rock Festival(北海道)、Fuji Rock Festivalなどに出演し聴衆を魅了。2004年東京藝術大学音楽研究科に入学し、南アジア音楽文化の専門的な研究を始める。現在、博士課程を終え、音楽研究活動、シタール奏法の指導をする傍ら、古典音楽を基本に様々な音楽との融合を試みた演奏活動を行い、シタール音楽の普及に取り組んでいる。ホームページ：<http://sawanjoshi.wix.com/sitar>

NPO法人 世界遺産コンサート



音楽をとおして、「世界遺産が地球の宝物」であることを実感し、お互いの固有な文化や民族を理解し、人々と感動を共有するコンサートを通じ、世界中の人たちと絆を結んでいく活動をしています。これまでに数多くの国と地域で、現地の演奏家とのコラボ、子供達との合唱を織り交ぜたコンサート開催してきました。2015年1月にはインド・ブッタガヤの日本寺、マハボディ寺院で世界遺産コンサートを開催し、感じたばかりのインド音楽・インド仏教をぜひこの機会に皆様にご紹介したいと思っております。